



みんなで暮らせる地域づくりフォーラム

発達障害の理解と支援

～年齢や障害特性に応じた関わり方について～

＊発達障害について、一緒に考えませんか？

日時 平成**29**年**11**月**27**日(月)

13:00～16:00(受付12:30～)

会場 長岡リリックホール シアター

長岡市千秋3丁目 1356-6

Tel 0258-29-7711

参加費
無料



講演 13:05～14:20

演題 発達障害の理解と支援

～働くために必要なこと～

講師 品川 裕香 氏 (教育ジャーナリスト・編集者、前文部科学省中央教育審議会
委員企画特別部会委員・同特別支援教育部会委員)

シンポジウム 14:40～15:55

「発達障害者への支援事例の紹介と意見交換」

○当事者 (大学卒の男性)

○教育支援者 能登 宏 氏 (新潟大学 教育・学生支援機構 学生支援センター 特任准教授)

○就労支援者 春川 麻里 氏 (社会福祉法人 こすもすの会 こすもす作業所 サービス管理責任者)

○コーディネーター 品川 裕香 氏

会場受付付近にて授産品(お菓子、雑貨など)の販売を行います

講師 品川 裕香（しながわ ゆか）氏プロフィール

兵庫県生まれ。早稲田大学法学部卒業。出版社で雑誌・書籍の編集に12年携わった後、2000年に独立。教育・医療・社会問題を異文化理解・予防的観点から取材執筆。国内外の教育現場（いじめ・不登校・虐待からLD・ADHD・アスペルガー症候群など特別支援教育、非行など矯正教育まで）、子ども・保護者・教師・支援者たちの思いを多角的に取材執筆。一方で、週刊誌『女性自身』（光文社）で2003年より現在まで、毎週著者インタビューと書評を連載。



北海道大学大学院教育学研究院附属子ども発達臨床研究センター学外研究員、文部科学省フリースクール等に関する検討会議委員、京都市教育委員会支援の必要な子どもプロジェクト専門委員、京都府立清明高等学校アドバイザー等として幅広く活動中。

主な著書に『若い人に贈る読書のすすめ2014』（読書推進運動協議会）に選定された『「働く」ために必要なこと：就労不安定にならないために』（筑摩書房）、日本にディスレクシア（読み書き障害）を紹介した『怠けてなんかない！』シリーズ（岩崎書店）、世界的にも最先端の教育を実践していた宇治少年院のルポ『心からのごめんなさいへ』（中央法規出版）ほか多数。最新刊は『いじめない力・いじめられない力』（岩崎書店）。

主催：「みんなで暮らせる地域づくりフォーラム」実行委員会、新潟県長岡地域振興局健康福祉環境部、新潟県柏崎地域振興局健康福祉部、

中越圏域障害者地域生活支援センター長岡療育園、中越圏域障害者地域生活支援センター茨内、新潟県精神保健福祉協会中越支部

共催：長岡市、柏崎市、小千谷市、見附市、出雲崎町、刈羽村、障がい者就業・生活支援センターこしじ、相談支援センターふかさわ、地域生活支援センターサンスマイル、越路ハイム地域生活支援センター、障がい者支援センターあさひ、障がい者支援センターあさひ 分室こしじ、障がい者支援センターさんわ、障害者相談支援センターとちお、障がい児（者）生活支援センターふくし・ばーとなー、茨内地域生活支援センター、元気館障害者デイサービスセンター、相談支援事業所おうぎまち、ふらぼーと秋桜、小千谷市社会福祉協議会、障害者相談支援事業所ひかり工房、相談支援センター小千谷さくら、相談支援事業所すきっぷ、障害者相談支援センターえがお、相談支援センターハーモニー

「みんなで暮らせる地域づくりフォーラム」参加申込書

所属団体等	
連絡先電話番号	
参加者氏名	

※必要事項をご記入の上、このままFAXしてください。また、下記のメールでも受付いたします。

※お申込みいただいた個人情報は、受付のみに使用します。

11月21日(火)までにお申し込みください。



お問い合わせ・申込み先

新潟県長岡地域振興局健康福祉環境部地域福祉課

TEL：0258-33-4937 FAX：0258-33-4933

メールアドレス：ngt111430@pref.niigata.lg.jp